

# 2023年度 事業報告および会計報告



特定非営利活動法人  
市民社会  
サポートやまがた

## I. 2023年度活動報告

### 1. 活動のまとめ

昨今、市民の価値観やニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化や社会的変化、課題の複雑化により、未来予測が難しいとされています。

今年度は、やまがた社会貢献基金に採択されたことをきっかけに、山形県内の多くの方々と共に活動することができました。

その中でも、以前より実施しなかった NPO 等の活動と課題・NPO が感じる地域の課題に関するヒアリング調査を行いました。半構造化インタビューで、数値的に見える全体的な傾向と、深堀して話を伺ったことで浮上してきた論点の両方を見える化し、NPO の実状と課題を知ることができました。

NPO に対する社会のニーズは増えていますが、組織を運営する資金が不足しており、そのため雇用を確保できず、活動が広がらないという負のスパイラルに陥っている状況が見られました。調査の中で、組織運営、資金不足に困り感を抱えている団体が自身で課題を改善するには限界があり、相談する場を求めていることもわかりました。

今後、このヒアリングによって認識した課題をサポート事業に活かしていきます。

また、人と人の出会いを作っていくことが当法人の目指すことと再認識した年でもあります。地域で市民公益活動が、やりやすく、活性化するよう取り組んでいき、持続可能な社会・地域づくりのために活動する団体や個人の力と行動を高めていくサポートを今後もおこなっていきたいと考えます。

市民公益活動の価値創出のあり方や意義や価値を継続して伝え、地域課題を解決する人や応援する人を増す、特に女性や若者など多様な新しいプレイヤーが、学び合う機会の創出により、山形県にチャレンジが生まれ、地域の課題解決が進み、地域課題に取り組む団体同士の連携・協働、コレクティブインパクトが根付く地域づくりにつなげていけたらと考えます。

組織マネジメント支援と共に、地域のニーズや課題に合わせた活動やプログラムを展開し NPO 法人や地域で活動する人たちが効果的に社会的課題に取り組むための支援や個別化、多様化に応える事業にチャレンジし、今後も、NPO 法人や地域で活動する人たち、企業、行政が協働して力を出し合い、より良い地域づくりを進めていくために活動していきます。

代表理事 石山 由美子

## 2. 事業実施に関する事項

### 1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
定款5-1-1 市民活動のための相談・コンサルティング事業	1.相談事業 2.組織伴走支援	(A)随時 6/1~5/31 (B)山形県内 (C)6人	(D)県内のNPO・市民活動団体地縁組織・支援組織 (E)延べ208人	380
定款5-1-2 市民活動のための情報収集・情報提供事業	資金調達、NPO法人制度・NPOの運営等についての情報を資料やホームページ、SNSで提供	(A)随時 6/1~5/31 (B)山形県内 (C)2人	(D)県内のNPO・市民活動団体地縁組織・支援組織 (E)延べ150人	30
定款5-1-3 市民活動のための研修及び人材育成・ネットワークづくり事業	人材育成等の研修会の実施。 1. 「好き」で仕事をつくる～地域が変わる・鶴岡ナリワイプロジェクトの実践から学ぶ～ 2. ナリワイまなびあい講座 わたくし作品展 3. 山形県NPO活動促進補助事業協働助成事業 学ぶ・つながる・行動する「活トレ」 2. 学ぶ・つながる・行動する交流会 4. NPO事務カセミナー・NPO検定	(A)9/23(B)山形市 (C)6人  (A)10/7・10/21・11/11・12/2・12/3 (B)山形市 (C)延べ15人  (A)10/14・11/18・12/17 (B)山形市・東根市・オンライン (C)延べ25人  (A)12/17 (B)山形市 (C)5人  (A)(B)山形県 (C)3人	(D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)25人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ188人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ84人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ25人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ52人	1,183
定款5-1-4 多様な主体の連携により、社会的課題の解決を促進させるしくみをつくる事業	地域でNPO資源を提供するしくみの基盤をつくる 1. 南沼原地区ネットワーク連絡会研修 2. NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査 3. 「NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査」報告会 4. 山形県における持続可能な組織運営のグット・プラクティス20調査	(A)8/31 (B)山形市 (C)2人  (A)随時 6/15~2/28 (B)山形県 (C)3人  (A)1/20 (B)3人 (C)Web  (A)8/4~12/30 (B)山形県 (C)延べ20人	(D)地域住民・企業・社会福祉協議会 (E)延べ156人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ6人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ20人  (D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ40人	964
定款5-1-5 その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	その他	(A)通年 (B)山形県内 (C)延べ6人	(D)県内のNPO・市民活動団体・地縁組織・市民 (E)延べ35人	454

## ①相談・コンサルティング事業

NPO 活動に関する個別相談・コンサルティングを実施する。(定款 5-1-1)

### a. 相談事業

種別	自主
内容	NPO 法人の設立や解散、運営・会計・法務・助成金の申請等について対応などを行った。 自分の力を地域や社会に役立てたい人、地域のために何かしたいけれど、何にどう関わればよいかかわからないといった人に、思い、現在の立ち位置の確認し、地域で何をしたいのか、何ができるのかを整理し、アクションへつなげるサポートをおこなった。 実施場所 山形市
件数	125 件
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立に関する相談が多く、次に法務局の手続きに関すること、会計、総会、役員に関すること、会計についての相談が多かった。</li> <li>NPO 等の活動と課題・NPO が感じる地域の課題に関する調査を行ったことで、顔の見える関係性が作られ、そこから相談が来るケースも多かった。</li> <li>・社会貢献を考えている方からの相談も多い。自分の人生を豊かに暮らしたい、自分の持つ資源を人のために役に立てたいと考えている人も一定数いて、参画・運営の方法などを提供できた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガバナンスの脆弱さから重要インシデントにつながる相談もあった。相談対応は、専門性が必要な相談もあることから、専門家との連携を整えていく。</li> <li>・新しいチャレンジや、困りごとにたいして丁寧に対応すること、困った時に頼れる存在となるために、「やまがた NPO 事務支援センター」の認知度を高めていく。</li> </ul>

### b. 組織伴走支援

種別	自主
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援を中心とした組織伴走支援の実施。課題解決のために、コーディネーター、ファシリテーターとしての役割を担い、課題解決までのサポート及び、安定化までの継続的な支援を実施した。</li> </ul> 実施場所 山形市・東根市・長井市・酒田市・新庄市・南陽市・舟形町
件数	11 団体
成果	単にアドバイスや指導を行うのではなく、ともに実務に取り組む「伴走型」という姿勢で取り組んだ。職員へのヒアリングや理事会への同席、実施事業の参加などを行い、実態を掴むことで適切なアドバイスを行うことができた。
課題	事業・活動に対する、信用と信頼を得るために、組織の継続性と資質を見直すことが、組織基盤強化になると捉え、今後もサポートしていく。



## ②情報収集・情報提供事業

資金調達、NPO 法人制度・NPO の運営等についての情報を資料やブログ、SNS で提供する。  
(定款 5-1-2)

種別	自主
内容	活動の状況などの情報をウェブサイト上で公開した。 各主体の活動の基盤となる情報を集め、わかりやすい形で公開することを目指した。団体運営に役立つ情報、イベント・市民社会サポートやまがたに関する情報を掲載した。
媒体	ホームページ・Facebook
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを開設したことで、サボやまの組織形態、活動内容を知らせる機会となり、信頼性が高まった。</li> <li>活動の様子を Web で発信したことで、新しい取り組みにつながった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信は、団体の活動の認知度の向上、団体への信用を担保する上で、重要な要因。情報内容の質を向上させ、発信頻度を上げていく必要がある。</li> <li>情報発信は、ファンドレイジングの基本であるが、団体として十分に情報公開しているとはいいがたい。今後、戦略を持って取り組んでいく。</li> <li>活動を行う団体への助成金等の情報発信が少なかった。今後は、組織運営、事業形成や実施に役立つ情報を、必要としているところに届けていく。そのための仕組みを作っていく。</li> </ul>

## ③研修及び人材育成・ネットワークづくり事業

人材育成等の研修会の実施。(定款 5-1-3)

種別	令和5年度山形市コミュニティファンド補助事業の助成事業 地域女性がつながり・まなび・とむにつくる・なりわひ起業家養成事業
内容	<p>1. 基調講演 「好き」で仕事をつくる～地域が変わる・鶴岡ナリワイプロジェクトの実践から学ぶ～ 講師：井東敬子氏（鶴岡ナリワイプロジェクト代表、わたしごと JAPAN 共同代表） 日時：2023 年 9 月 23 日 土曜日 9:30～12:00 会場：遊学館 3 階 第 2 会議室（〒990-0041 山形市緑町 1 丁目 2-36） 参加者：25 名</p> <p>2. ナリワイまなびあい講座（全 5 回） 参加者 15 名 第 1 回目 10 月 7 日（土曜日）10:00～12:00 文翔館 第一会議室 ・ワークショップ：企画についてー「やってみたい」を形に：事業計画を作ってみよう 参加者 14 名 第 2 回目 10 月 21 日（土曜日）10:00～12:00 文翔館 第一会議室 ・仲間をつくろう：イベントの参加と作り方、情報の集め方 参加者 12 名 第 3 回目 11 月 11 日（土曜日）10:00～12:00 文翔館 第一会議室 ・伝える力をアップしよう：伝えるとは何か？情報発信の工夫、SNS の使い方 参加者 14 名 第 4 回目 12 月 2 日（土曜日）10:00～15:00 文翔館 ギャラリー6 ・ワタシ作品・発表会：イベント体験、お客さんに接してみる 出展者 15 名+ゲスト 4 名 来場者 128 名 第 5 回目 12 月 3 日（日曜日）10:00～12:00 文翔館 ギャラリー6 ・交流会・ナリワイやってみよう！これまでの振り返り 参加者 9 名</p>
成果	<p>・地域の課題を考えれば、行政の力だけでは解決できないことが山積み。その課題を解消するには、そこに住む人たちが何かしらの社会的行動を取ることが求められる。自分で考えて主体的に行動できる人を育てていくこと、そうした人材を育てる仕組みをつくることをこの事業で目指した。参加した女性たちは、能力やスキルを活かす機会と、支え合える仲間に出会うチャンスがこの事業で作られ、同じ価値観や方向性を持つ仲間とつながり、地縁だけではなく価値でつながった。培ってきたスキルを使って社会と接点を持ちたいと考えている人はたくさんおり、地域の担い手として必要な存在になる。多様化する地域課題を自分たちで解決していく女性起業家づくりの一歩となる事業であった。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な価値観を持つ参加者が多く、共通言語をつくるのが難しかった。</li> <li>マンパワー不足もあり、運営に難しさがあった。会員のサポートのおかげで無事終了することができた。事業検証の必要性がある事業となった。</li> </ul>

種別	山形県NPO活動促進補助事業 協働助成事業学ば・つながる・行動する「活トシ及び学ば・つながる・行動する交流会
内容	<p>「住民主体の地域づくり」は長らく言われ、それを考える人が住民にも、行政にも多くいるが、効果的に機能している事例は限られている。住民主体の地域づくりに多くの人が意欲も能力もあるのに、うまくいかないのは「違う価値観の受止に慣れていない」「地域運営に必要なスキルや心構えの認識の不足」「実践、経験知の共有不足」などがあげられる。しかし、市民の中には、自ら地域を良くしていく意欲も能力もある。この事業では、実践者の経験からのノウハウを学び、対話やコミュニケーションにより、試行錯誤した経験を共有し活動づくりに挑む。また、このプロセスによる必要なノウハウを、多くの人が使える形に体系化し、持続可能な社会・地域づくりのために活動する団体や個人の力と行動を高めていく。</p> <p>【1】連続講座  &lt;1&gt;「目指す地域の姿（ビジョン）と団体の使命（ミッション）」を考えよう  日時：2023年10月14日（土曜日）午前10時から午後12時 場所：ZOOMでの開催。  2）参加者：16名 3）講師 長浜 洋二 氏 モジョコンサルティング合同会社代表  &lt;2&gt;『協力のテクノロジー 関係者の相利をはかるマネジメント～  日時：2023年11月18日（土曜日）午前11時から午後1時 場所：山形市総合福祉センター 3階  2）参加者：25名 a)) 講師：松原明氏（協力世界アカデミー 代表理事）  &lt;3&gt; 「自分たちが地域でやっていきたいことを実現するための講座 ～事業計画立案研修～  日時：2023年12月17日（日）10:00～15:00  場所：山形ビックウィング4階 会議室402）  2）参加者：14名 3）講師：椿原 恵氏  【2】交流会 日時：2023年12月17日（日）15:00～17:00 場所：山形ビックウィング4階 会議室402  参加者：15名・  【3】学びあいの会&lt;1&gt; 団体の未来を描いてみよう！ 日時： 1月21日（日）13:30-16:30  場所：東根公民館2階小ホール参加者：8名  &lt;2&gt; 学びあいの会：「持続可能な社会・地域づくり：災害マネジメントを学ぶ」令和6年能登半島地震・活動報告  日時：2024年1月21日（日）19:00～20:00 オンライン（ZOOM） 参加者：19名 報告者：ウェザーハート災害福祉事務所 代表千川原公彦さん ファシリテーター：やまがたファシリテーションネットワーク 代表 荒井信毅さん  &lt;3&gt; 自分たちが地域でやっていきたいことを実現するための講座・事業計画立案研修事後勉強会 日時：2024年2月9日（日）19:00～21:00 場所：zoomでの開催 2）参加者：6名</p>
成果	<p>分野が違って志が同じ人たちが集い、知り合うことで、可能性が広がりアイデアが生まれることを参加者の表情や発言から実感させられた。地域づくりに欠かせない活動のビジョン、ミッションについて、誰とどのように協働していったらよいのかを体系的に学び、学んだことをもとに活動計画を立てることで、住民主体の地域づくりへの一歩を踏み出せるようになる機会を提供できた。参加した団体や活動者がお互いの活動を知り学びあうことにより、県内でのネットワークの形成につながった。</p> <p>指標： A 講座に対して満足と答えた人9割（アンケート調査） B 活動計画立案研修により活動計画をつくることのできた人が7割（アンケート調査） C 組織設立・運営などの理解が深まった人が8割（アンケート調査） D 市民活動団体の交流会に参加した人の満足度 10割（アンケート調査）</p>
課題	<p>人と人の出会いを作っていくことが当法人の目指すことと再認識した。市民活動、ボランティア活動は地域において価値がある。今後も、地域で市民公益活動が、やりやすく、活性化するよう取り組んでいきたい。今回の研修プロセスを多くの人が使える形に体系化し、持続可能な社会・地域づくりのために活動する団体や個人の力と行動を高めていく。市民公益活動の価値創出のあり方や意義や価値を継続して伝え、地域課題を解決する人や応援する人を増す。特に女性や若者など多様な新しいプレイヤーが、学び合う機会の創出により、山形県にチャレンジが生まれ、地域の課題解決が進み、地域課題に取組む団体同士の連携・協働、コレクティブインパクトが根付く地域づくりにつなげる。</p>

種別	山形県NPO活動促進補助事業 協働助成事業（一般型） NPO 事務力セミナー・NPO 検定
内容	<p>NPO 経営を支援する全国 NPO 事務支援カンファレンスのプログラムにより、団体運営に必要な事務局業務についてのセミナーと、セミナー終了後、NPO に必要な事務手続きの理解を問う日本で唯一の検定「NPO 法人事務力検定」を行い、理解度や習熟度を高め、事務力の向上を目指す。正確な運営事務は、団体の信頼性を高め、ガバナンスの強化につながり、持続可能な組織運営の</p>

	<p>基盤となる。調査及び事業の報告会を行い、ステイクホルダーと共有し、今後の支援のあり方を検討し、民間非営利組織（NPO等）の支援につなげると共に、市民社会セクターが発展するための基盤整備を図る。</p> <p>①実施会場 村山会場 日時 2023年12月13日（金）10:00～17:15 場所 山形市男女共同参画センターファースト 講師 宇都宮まちづくり市民工房 土崎雄祐さん</p> <p>置賜会場 日時 2024年1月12日（金）10:00～17:15 場所 置賜総合文化センター 301 研修室 講師 宇都宮まちづくり市民工房 土崎雄祐さん</p> <p>庄内会場 日時 2024年1月19日（金） セミナー10:00～15:30/検定 15:45～17:00 場所 文化館 なの花ホール 研修室 講師 基礎・所轄庁・法務局：わかやま NPO センター 志場久起さん 労務：宇都宮まちづくり市民工房 土崎雄祐さん 会計：岡山NPOセンター 加藤彰子さん</p> <p>最上会場 日時 2024年2月2日（金） セミナー10:00～15:30/検定 15:45～17:00 場所 わくわく新庄 会議室（山形県新庄市下金沢町15番11号） 講師 基礎・所轄庁・法務局：岡山NPOセンター 加藤彰子さん 労務：わかやまNPOセンター 志場久起さん 会計：岡山NPOセンター 加藤彰子さん</p>
成果	<p>参加者数の目標50名に対して52名の参加となり、参加者からは、「セミナーで学んだことを活かして事務業務の効率化が図られ、業務の効率が向上が期待できる」「法務に関する基本的な知識や情報を学べたことで、適切な事務処理ができる」「会計管理の知識や手法を習得し、効果的な会計管理、組織の健全な運営ができる」という感想や意見ももらい、参加者アンケートでは、9割が大変役に立った、役に立ったとの評価となった。</p>
課題	<p>参加した方の満足度は高かったが、長時間の講座設計だったり、講座内容がわかりにくいものだったり参加を促すための広報に工夫が必要であった。</p> <p>また、同時開催した検定を受験した方の合格率は3割。全国平均の7割と比べ低い。</p> <p>参加しやすく、成果につながる講座を定期的実施することを必要だ。</p>

④多様な主体の連携により、社会的課題の解決を促進させるしくみをつくる事業  
地域でNPOへ資源を提供するしくみの基盤をつくる（定款5-1-4）

種別	<p>山形県NPO活動促進補助事業 協働助成事業（一般型） 2023年度 NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査</p>
内容	<p>山形県内で活動するNPO法人（認定を含む）・一般社団法人（非営利活動）・任意団体を対象に、団体がおかれている現状や抱えている課題、団体が感じている地域の課題等をうかがい、山形県内のNPO等の活動の現状を明らかにする。</p> <p>①調査期間：令和5年6月15日～令和6年2月13日 ②対象：山形県内のNPO法人、任意団体、一般社団法人非営利型に80団体に対し、訪問型、WebシステムZOOM、NPO事務カセミナー（注1）参加団体 （注1）NPOの基礎知識、各庁への提出書類作成事務、雇用手続きと給与計算、経理事務の基礎知識など、NPOの運営実務全般を一日で、学ぶセミナー</p>
成果	<p>ヒアリング調査は、目標の80団体に対し、80団体の調査を行い、現状を分析でき、課題の洗い出しも行い、報告書によるアウトプットを行った。このアウトプットにより、今後、取り組むべき活動を確認できた。報告会では、山形県内外で活動をしている参加者からの様々な知見をいただき、今後、連携して行う活動についての目線合わせができた。</p> <p>グッドプラクティス20の取材では、適切な目標の設定、パートナーシップと協力を行っている20団体取材でき、ケーススタディ集をつくることができた。</p>
課題	<p>NPO等の活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査は、サボやま設立以来、実施したいと考えていた事業だった。実施時間がタイトで、内容の考察も浅く、せっかくの調査の効果が薄い。</p> <p>このデータを今後どう使っていくかという大きな課題を残した。</p> <p>また、予算管理が甘く予算をオーバーした結果となってしまった。</p>



種別	地域組織サポート事業 南沼原地区ネットワーク連絡会研修
内容	実施日 2023年 8月 31日 13:30~15:30 (2時間) 会場 南沼原コミュニティセンター 参加者 町内会長・民生委員 児童委員・福祉協力員世話人・介護保険サービス事業所 グループ20 (町内会ごと+パートナー事業所) 目的 「おらっちょプロジェクト」の推進に向けて、地域と事業所が協力し地域づくりをすすめる
成果	地区参加した社協の役員さん、地域役員のみなさんが大変興味を持って話し合いが実施された。介護事業所と地域住民の連携の種も生まれた。また、他町内の模造紙を写真撮って帰る姿があり、役員のみなさんが地域づくりに対して意欲的で興味関心が高い。今後も、この会の盛り上がりを継続したい、全町内の事を皆で共有していきたいとの感想をいただいた。
課題	地域組織のサポートは、今年度は、この事業のみであった。その一方でニーズは高く、依頼もあるがマンパワー不足により、受けられない現状だった。地域の担い手人材の育成は、必要であるため、今後、事業として実施できる体制づくりが必要だ。

種別	自主 能登半島地震支援「くつした&ぱんつおとどけプロジェクト」
内容	能登半島地震で被災し避難生活を余儀なくされている方々に「あたらしい」くつしたとぱんつを送る「くつした&ぱんつおとどけプロジェクト」を実施した。令和6年能登半島地震・山形の支援情報共有グループを立ち上げ、山形県内の被災地支援を行う個人・団体と情報共有を行った。その中で、支援を呼び掛けたり、Webで情報発信を行ったりした。 物資提供者：団体8団体、個人12名 物資提供先：チーム中越・金沢市地域包括支援センターとびうめ 実施場所 山形市

種別	自主 多組織との連携
内容	全国や東北地域の間接支援組織や支援団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシックガバナンス認証の取得 (日本非営利組織評価センター (JCNE))</li> <li>・やまがた NPO 事務支援センターの運営および全国 NPO 事務支援カンファレンス認定講師 (全国 NPO 事務支援カンファレンス)</li> <li>・孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員</li> <li>・第5回中間支援機能に関する研究会</li> <li>・NPO 法人会計基準協議会 NPO 会計サポート・コミュニティ</li> <li>・東北復興の未来づくり協議会</li> </ul>





### 3. 組織運営

【1】 会員正会員 12名

【2】 総会の開催

(1) 通常総会 2023年8月20日

審議事項

- 1) 議長選任の件
- 2) 事業報告及び決算に関する件
- 3) 事業計画及び活動予算に関する件
- 4) 理事の重任に関する件

【3】 理事会開催

第9回 2023年7月27日

第10回 2023年11月1日

### 4. ボランティア・寄付

1) ボランティア活動

今年度の活動は、ボランティア活動により実施。(ボランティア活動は、のべ48名・223時間)

2) 寄付金(会計報告参照)

5名の方から寄付をいただいた。

### 5. その他

1) 講師派遣

ファシリテーターの派遣

南沼原地区ネットワーク連絡会

令和5年度子どもの居場所づくり支援事業第2回研修会

2) 委員など

山形市働く女性の家運営委員会 委員 2022年4月から現在(石山)

一社) 山形県地域包括支援センター等協議会 アドバイザー 2023年9月から現在(石山)

## II. 会計報告

別紙 参照

# 決算報告書

第 3期

自 2023年 6月 1日

至 2024年 5月31日

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた

山形市小立3丁目8-39-10

# 活動計算書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた

自 令和5年 6月 1日 至 令和6年 5月31日

## 【経常収益】

### 【受取会費】

正会員受取会費 60,000

### 【受取寄付金】

受取寄付金 332,000

### 【受取助成金等】

受取補助金 2,356,070

### 【その他収益】

受取利息 5

雑収益 183,255 183,260

経常収益計

2,931,330

## 【経常費用】

### 【事業費】

(人件費)

給料手当(事業) 785,500

人件費計 785,500

(その他経費)

諸謝金 1,003,580

印刷製本費(事業) 173,262

旅費交通費(事業) 274,029

通信運搬費(事業) 146,284

消耗品費(事業) 104,936

水道光熱費(事業) 6,260

地代家賃(事業) 40,000

賃借料(事業) 42,218

租税公課(事業) 21,020

支払手数料(事業) 9,970

その他経費計 1,821,559

事業費計

2,607,059

### 【管理費】

(人件費)

給料手当 0

人件費計 0

(その他経費)

諸謝金 10,000

会議費 30,270

旅費交通費 100,255

通信運搬費 15,994

水道光熱費 54,114

地代家賃 160,000

賃借料 24,110

諸会費 10,000

租税公課 450

支払手数料 1,980

その他経費計 407,173

管理費計

407,173

経常費用計

3,014,232

当期経常増減額

△ 82,902

## 【経常外収益】

経常外収益計 0

## 【経常外費用】

経常外費用計 0

税引前当期正味財産増減額 △ 82,902

当期正味財産増減額 △ 82,902

前期繰越正味財産額 173,795

次期繰越正味財産額 90,893

# 貸借対照表

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
令和6年 5月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	13,210		
山形銀行	50,296		
郵便局	27,387		
現金・預金 計	<u>90,893</u>		
流動資産合計		<u>90,893</u>	
資産合計			<u>90,893</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
流動負債合計		<u>0</u>	
負債合計			0
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産	173,795		
当期正味財産増減額	<u>△ 82,902</u>		
正味財産合計		<u>90,893</u>	
負債及び正味財産合計			<u>90,893</u>

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
令和6年 5月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	13,210
山形銀行	50,296
郵便局	27,387
現金・預金 計	<u>90,893</u>

流動資産合計

90,893

資産合計

90,893

## 《負債の部》

### 【流動負債】

流動負債合計

0

負債合計

0

正味財産

90,893

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた

令和6年 5月31日 現在

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

### 2. 経費の内訳

経費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	市民活動のための情報収集・情報提供事業	市民活動のための研修及び人材育成・ネットワークづくり事業	多様な主体の連携により、社会的課題の解決を促進させるしくみをつくる事業	市民活動のための相談・コンサルティング事業	管理費	合計
(人件費)						
給料 手当	27,000	407,500	326,000	25,000		785,500
人件費計	27,000	407,500	326,000	25,000		785,500
(その他経費)						
諸謝金		433,790	369,790	200,000	10,000	1,013,580
会議費					30,270	30,270
印刷製本費		52,471	64,717	56,074		173,262
旅費交通費		153,629	89,980	30,420	100,255	374,284
通信運搬費	3,900	65,244	43,710	33,430	15,994	158,378
消耗品費		31,989	49,487	23,460		104,936
水道光熱費					60,374	60,374
地代家賃					200,000	200,000
諸会費					10,000	10,000
賃借料		16,380	16,458	9,380	24,110	66,328
租税公課		20,420			1,050	21,470
支払手数料		2,400	3,940	2,860	2,750	11,950
その他経費計	3,900	776,323	638,082	355,624	454,803	2,224,832
合計	30,900	1,183,823	964,082	380,624	454,803	3,014,232

### 3. 固定資産の増減の内訳

該当する取引はありません

### 4. 借入金が増減の内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入				
役員借入金	0	1,050,000	1,050,000	0
合計	0	1,050,000	1,050,000	0

### 5. 寄付の状況

科目	財務諸表に計上された金額	備考
受取寄付	332,000	5人(延べ6件)
内訳	役員	150,000 1人(延べ2件)
	3千円以上の寄付の名簿	180,000 4人(延べ4件)
	使途指定寄付	0 0件